

成果報告書

中国ハラル食品認証問題の現状と問題点という課題を調査するために、中国で現地調査を実施した。北京にあるハラル認証機関にヒヤリングし、主なハラル食品販売市場に訪問し、ハラル食品消費者にインタビューを行った。以上の活動を通じて、中国ハラル認証問題の基本状況と存在する問題点等を明確し、今後の中国ハラル食品市場とハラル認証問題の研究に役に立てると思う。

一. ヒヤリング

今回は、北京にある中国イスラム協会にヒヤリングを行い、中国ハラル食品認証問題の現状に関する大切な情報と資料を手に入れた。

中国ハラル認証において、イスラム教のシャリーア法に順って、作られた基準に基づき、認証活動を実施する。マレーシアのような政府系のハラル認証機関がまだ成立していなく、主な認証機関はイスラム協会や民族委員会である。たまにハラル化粧品や生活用品の認証依頼もあることにもかかわらず、中国イスラム協会において、ハラル認証活動の主要対象者はハラル食品である。近年、特に今年にハラル認証依頼が倍増し、今年だけで100社強のハラル食品企業がハラル認証を申請した。イスラム諸国の食品消費の急速な拡大とともに、中国ハラル食品認証依頼もますます増加し、今後もこの傾向は続くであろう。そして、輸出用のハラル認証活動は主に中国イスラム協会が実施していることが現状となっている。ほかに、山東省イスラム協会でも輸出用のハラル認証を行っているといわれている。国内用のハラル認証の場合は各地域(省・市)のイスラム協会が実施している。それに、生産工場の位置によって、地元の認証機関に申請する場合が多数である。つまり、国内市場において、輸出用のハラル認証以外はほとんど現地認証を行っている。

ハラル認証はいろいろな細かい項目が制限されているので、ハラル認証問題を研究するため、認証取得するフローや検査項目等の詳しい内容を伺った。例えば、書類審査の内容と基準や現地検査の項目や更新問題等についてヒヤリングを行った。

二.ハラル商品スーパー訪問

有名なイスラム教徒が集まり住んだ牛街にあるハラル商品スーパーに訪問し、ハラル食品の認証マークやハラル食品の消費者層等の現状を把握できたようになった。面積が広くて、食物や日常生活品からイスラム教徒用の雑貨まで様々なハラル商品が売っているスーパーであった。山ほどのハラル食品の中に、ハラル認証機関に認証されたハラル認証マークがついた商品は少なくなかった。各省・市イスラム協会が認証したハラル認証マークを見つけたり、やはり現地認証の場合が大半数であった。同じく中国イスラム協会が承認した認証マークとしても、認証マークのデザインや文字表示等が全然異なった。つまり、現在、中国ハラル食品市場において、既に地元のイスラム協会によるハラル認証済みのハラル企業は数多く存在し、各認証機関のハラル認証マークが異なり、同じ認証機関が認証したハラル食品としても、ハラル認証マークがまだ統一されていないことが現状となっている。また、このスーパーの主な消費者は北京に住んでいるイスラム教を信仰した少数民族や漢民族消費者である。それに、イス

ラム教を信仰した外国人観光者や国内各地からのムスリム観光者の姿も見られる。つまり、中国ハラル食品市場において、ハラル食品消費者の構成は国内イスラム教を信仰した少数民族だけではなく、ハラル食品に好感度を持っている漢民族消費者や海外からのムスリム観光客やムスリム在住者等も数多くいる。

三. ハラル認証の意義と課題

中国において、イスラム教を信仰する少数民族は 2000 万人以上いて、この中で、回族が最も多く、1000 万人以上がいるといわれた。今回の現地調査の時、回族のハラル商品消費者にインタビューを行い、中国ハラル食品消費者のハラル認証に対するイメージを調査した。まず、ハラル認証マークに対して、高い信頼性が置かれたことは現状となっている。ハラル食品を購入するとき、ハラル認証マークの付いたハラル商品を優先的に選択する傾向が顕著であり、特に地元の認証機関と中国イスラム協会が認証した食品に対する信頼感が高いといわれた。また、中国において、全国的に統一的な認証機関と統一的な認証マークがないため、ハラル食品消費者はハラル食品を選択するときに、自分の経験や認識で判断しなければならない。そして、全国統一的なハラル食品規格がないため、偽物が出現する場合もある。全国的に統一的な基準やルールがまだ存在しておらず、各地域や各認証機関の格差に注意すべきである。つまり、中国ハラル食品認証問題において、全国統一的なハラル規格と基準や全国的に統一的な認証期間と認証マークを確定することは早急な対策が必要である。